

肺線維症の発症・進行 の分子メカニズム

講師：金澤 智 学内講師
名古屋市立大学 大学院医学研究科
神経発達症遺伝学分野



日時：2022年5月26日（木）17:00～
場所：名古屋市立大学桜山キャンパス
医学部研究棟11階 講義室B

本セミナーはZOOMによるオンライン配信も致します。オンラインでの参加は下記URL又はQRコードからログインしてください。
URL：<https://us02web.zoom.us/j/89931049393>



セミナーでは、関節リウマチ及びその合併症である間質性肺炎、特に特発性肺線維症 (idiopathic pulmonary fibrosis, IPF)がどのように発症し進行するのか、これまでのデータを基に、そのメカニズムについて最新の知見を概説します。後半では、肺へのSARS-CoV-2感染によるインターフェロン、サイトカイン産生が、Angiotensin converting enzyme 2 (Ace2)およびウイルスの細胞内へのエントリーに必須なcellular serine proteaseであるTmpross2の発現に及ぼす影響について最近得られたデータを中心にご紹介します。

関連論文

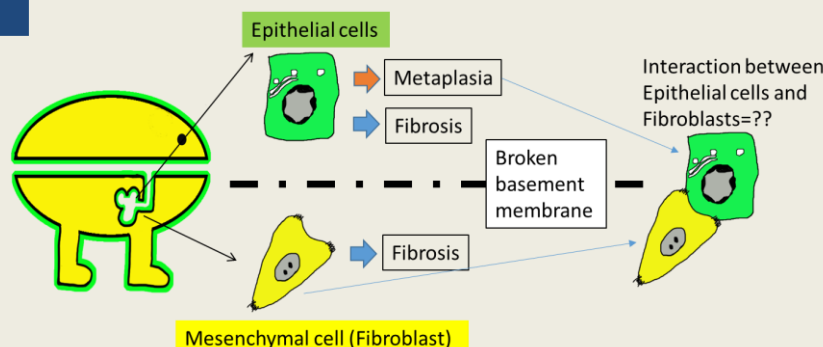


LSA2022

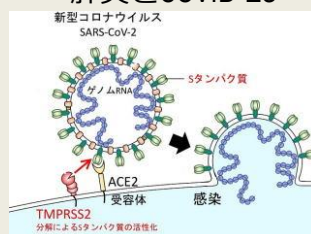


ERJOR2021

EMTを獲得した肺上皮細胞が線維化、がん化にどのように関わるのか？



肺炎とCOVID-19



東大医科研サイトより転写

世話人：山川和弘（医学研究科・神経発達症遺伝学分野）
TEL: 052-851-5612, E-mail: yamakawa@med.nagoya-cu.ac.jp